

福井市森林整備・林業成長産業化推進プランの概要

基本理念と計画期間

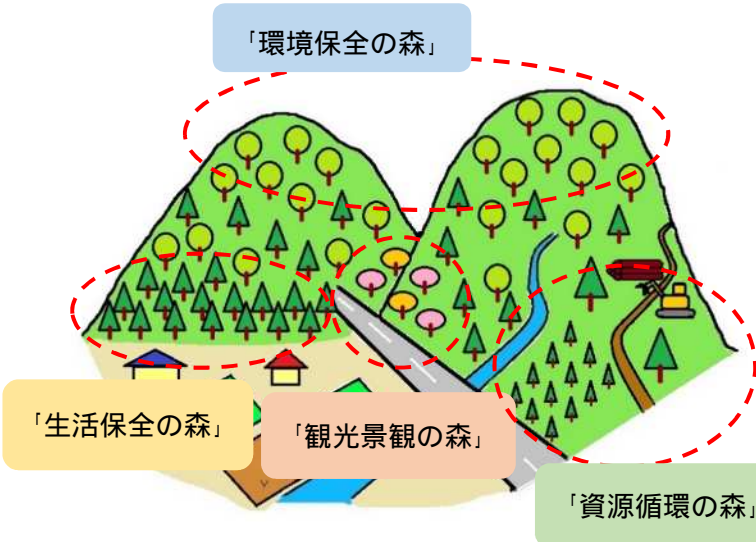
- 【基本理念】** 「伐って使って触れ合って未来に引き継ぐ森林づくりの推進」
【計画期間】 令和3年度～令和7年度(5年間)
【目指す姿】
- 1: 未来を見据えた健全な森林づくり
 - 2: 次世代を担う人づくり
 - 3: 資源の循環利用による地域づくり

前プランからの課題

- 地形等の自然条件や地域の生活環境等を考慮し、あるべき森林の姿の検討が必要
- 計画的で効率的な森林整備や生産性向上が必要
- 林業の担い手の確保・育成が必要
- 県産材の需要拡大が必要
- 森林資源が循環する継続的な取組が必要

- 【本市の森林の現状】**
- 森林面積 31,943ha(市全面積の約60%)
 - 民有林 31,834haの約61%が人工林
 - 人工林のほとんどがスギ
 - 人工林の約9割が、主伐できる8齢級(40年生)を超えている。

100年後の姿の目指すべき森林のイメージ



- 「資源循環の森」
造林適地のうち林業経営に適した森林
- 「環境保全の森」
造林不適地の人工林は、天然林、針広混交林へ誘導する森林
- 「観光景観の森」
観光資源として期待できる森林
- 「生活保全の森」
住民の生活環境を守るための森林



基本方針 1 森林の多面的機能の強化

数値目標:

森林整備の実施面積(年間)	395ha	500ha
橋梁・トンネルの長寿命化対策済施設数(累計)	3箇所	7箇所

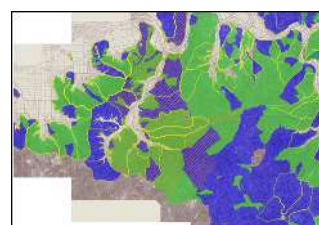
基本方針実現のための主な施策

森林の整備

- 新 100年後の望ましい森林の姿へ配置を見直すため、「市町村森林整備計画」において4つの森林区分によりゾーニングを設定
- 新 森林経営管理法に基づき本市が所有者から経営管理できていない森林の「経営管理権」を取得し、意欲と能力ある林業経営体に森林整備を再委託
- 新 必要な苗木の確保に向け、生産規模の拡大や、短期に大量生産が可能なコンテナ苗生産技術の導入などを支援

森林の保全

- 伐採及び伐採後の造林届出事務と土地所有者届出事務を適正に運用
- 樹木の剥皮や苗木の採食等の被害を及ぼすニホンジカやツキノワグマについて県の「第二種特定鳥獣管理計画」等に基づき適切な管理を実施
- 防災・減災のための施設整備等の推進
- 新 山地災害被災箇所の早期復旧のため、県と連携し復旧対策の実施
- 新 長寿命化個別施設計画に基づき、林道施設(橋梁・トンネル)の点検・診断の推進と計画的な補修の実施



4つの森林区分のゾーニング



地域での話し合い(意向調査)

基本方針 2 担い手の確保・育成

数値目標:

林業の新規就業者数(累計)	37人	25人
---------------	-----	-----

基本方針実現のための主な施策

林業の担い手の確保・育成

- 移住定住のイベントや都市部での就業相談会へ参加し、林業のPRや就業相談を実施
- 自伐林家や林業事業者が行う森林整備や作業道開設に対し支援
- 林業労働者の技能向上を図るための講習会参加に対し支援
- 特用林産物の生産者の確保・育成
- 新 本市において新たに特用林産物の生産を始めた方に対し、生活費などの初期費用を支援



県外での就業相談会



技術向上講習会



特用林産物の生産現場



木造の公共建築物



スマート林業



森林空間を活用した取組

基本方針 3 林業の成長産業化の推進

数値目標:

木材生産量(年間)(A材+B材+C材)	34,901 m ³	46,500 m ³
製材用途の木材生産量(A材)(年間)	1,202 m ³	5,600 m ³
木材製品出荷量(B材)(年間)	13,051 m ³	23,800 m ³
木質バイオマス燃料用木材供給量(C材)(年間)	20,648 m ³	17,100 m ³
林内路網の整備延長(累計)	339 km	350 km
イベント参加者数(年間)	13,477人	20,000人
特用林産物の生産量(年間)	167t	180t

基本方針実現のための主な施策

県産材・市産材供給体制の強化

- 新 県、協議会や研究機関と連携し、県産材利用ができる情報を整理した「ふくいの木材利用の手引き」を作成
- 新 県と連携し、B材工場の誘致に協力
- 県産材・市産材の需要拡大
- 新 公共建築物の木造・木質化、木製品等の備品など公益性・公共性の高い取組に対し森林環境譲与税を活用し支援
- 新 市内の木製品をふるさと納税返礼品として活用
- 林内路網整備の推進
- 持続可能な林業経営を図るための生産基盤強化区域の設定
- スマート林業の推進
- 新 航空レーザー測量等のICT技術活用による境界確認や森林整備の推進
- 森林空間の利活用
- 新 森林景観スポットを募集し眺望ポイントのPR
- 新 医療・福祉、観光、教育など多様な分野の市民団体等が、森林空間を活用した取組(森林のサービス産業)に対する支援
- 特用林産物の産地化の推進
- 必要に応じて生産安定化への設備導入を支援